

- 1 題材名 いろいろな音のひびきを味わおう
教材名 管弦楽組曲「惑星」から「木星」(ホルスト 作曲)

2 題材について

題材観

本題材では、役割の異なるパートの音が重なり合う響きを感じ取って、楽器の特徴を生かした合奏や音楽づくりをする。また、オーケストラの様々な楽器の組み合わせから生まれる響きを味わう。表現と鑑賞を関連付けた題材構成により、楽器の組み合わせから生まれる響きの美しさを味わうことをねらいとしている。これらの学習は中学校第1学年の『情景と音楽』のリズムや旋律、強弱の変化と曲想の関わり、楽器の音色に関心をもって鑑賞する学習や中学校第2学年の『形式による曲のおもしろさ』の曲の形式や構造と、それらが生み出す曲想との関わりを理解して曲全体を味わう学習さらに中学校第3学年の『名曲の響き』の音楽の特徴や変化、楽器の組み合わせによる表現の効果から感じ取ったことを言葉で説明するなどして、多様な音楽表現の豊かさや美しさを味わって鑑賞する学習へと発展していくと思われる。

児童はこれまでに旋律の特徴や変化を感じ取りながら聴いたり(第3学年『メヌエット』・第4学年『白鳥』・第5学年『威風堂々第1番』) 楽器による音の特徴や音色の違いを感じながら聴いたり(第3学年『トランペットふきの休日』・第4学年『バディネリ』『クラリネットポルカ』) 旋律や音が重なり合う面白さを感じ取って聴いたり(第3学年『かね』・第4学年『ファランドール』・第5学年『アイネクライネナハトムジーク第1楽章』『双頭のわしの旗の下に』) してきた。この題材を学習することにより、楽器による音の重なりや響きの違いやよさを知り、合奏表現での楽器選びで音色の特徴を生かした楽器を選んだり、反対に旋律の特徴に合った楽器を選んで音の重なりや響きを楽しむなどの経験をしてきた。本題材では「ラバーズコンチェルト」の学習で自分たちの音色のイメージに合った楽器を選んだり、それぞれのパートの旋律を生かす楽器を選んでグループ合奏をさせ、進んで表現を楽しむことのよさを味わわせたい。また、鑑賞教材の「木星」では、オーケストラの様々な楽器の音色に注目し、速度や旋律などの変化による曲想の移り変わりに気を付けて聴かせたい。さらに、オーケストラだけでなく、他の楽器による演奏にも目を向けさせ、楽器や編曲の違いによる楽曲のよさを味わわせたい。

3 題材の目標

- (ア) パートの役割や楽器の特徴を生かして全体の響きを味わって演奏したり、楽器の組み合わせから生まれる響きの美しさを味わって聴いたりする。
- (イ) 楽器の音色やリズム、音楽の仕組みを生かして、音楽をつくったり演奏したりする。

4 研究の視点について

【視点1】 9年間を見据えた学び方の共有

子供たちは日頃クラシック音楽を聴く機会がほとんどない。しかし、TVの番組やCM等でクラシック音楽に触れる機会は少なくはない。子供たちの音楽への興味関心を広げるためにも教科書教材だけでなくいろいろな音楽を聴き、その楽曲の特徴や面白さを知ることによりさらに興味・関心を持って音楽を楽しむことができるようになると思う。そして、この学習により中学校でより広く音楽を楽しんだり、分析して音楽を聴いたりする学習の基礎となればと考える。

【視点3】 「音楽を形作っている要素」を支えとして思考・判断・表現力を育てる授業改善

鑑賞の学習の際、楽器の音色を味わったり、楽曲の構成を知ったり、「音楽を形作っている要素」をもとに楽曲を分析することで、より興味・関心をもって鑑賞ができると考える。また、共通事項と関連付けながら楽曲を聴くことにより、その楽曲のよさや特徴が明確になると考える。そして、そこで学んだことを合奏や合唱などの表現活動にも生かすことができるよう指導していきたい。

6 題材の指導計画 (3時間計画)

時	○学習内容 ・主な学習活動	評価規準
第1時	○いろいろな音が重なり合うオーケストラの響きを味わって「木星」を聴く。 ・主な旋律の楽器の音色に着目し、旋律の繰り返しや様々な演奏の変化に気付く。 ・曲想の変化による情景を思い浮かべて聴く。	○楽器の音色、旋律の反復や変化、拍子の違いを聴き取り、それらの働きから生まれるよさや面白さを感じ取り、楽曲の構造を理解したり楽曲全体にわたる曲想を味わったりして聴いている。 (鑑—①ワークシートの記入内容) ○曲想とその変化の特徴、楽器の音色と旋律の反復や変化、拍子の違いなどのかかわり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表するなどして、楽曲の特徴やオーケストラの響きのよさを理解して聴いている。 (鑑—②ワークシートの記入内容)
第2時	○様々な編曲や演奏形態による「木星(中間部3/4の旋律)」の演奏を聴く。 ・オーケストラでの演奏と比べて、その演奏のよさや特徴を感じ取り、自分の好きな演奏を決める。	○オーケストラの響きに興味・関心を持ち、楽器の響きや楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に主体的に取り組もうとしている。(興・関—②発言から)
第3次 (本時)	○自分の好きな「木星(中間部3/4の旋律)」の好きなところとその理由を言葉で表現し伝え合う。 ・楽器の音色、編曲、音の重なりなどの共通事項をもとに自分の選んだ「木星」のよさや特徴を同じグループの友達と共有する。 ・自分たちの好きな「木星」のよさや特徴を発表し、オーケストラでの演奏と比べる。	○曲想とその変化の特徴、楽器の音色と旋律の反復や変化、拍子の違いなどのかかわり合いから、想像したことや感じ取ったことを言葉で表するなどして、楽曲の特徴やオーケストラの響きのよさを理解して聴いている。(鑑—②付箋への記入内容) ○楽器の響きに興味・関心を持ち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 (興・関—①発言から)

6 本時の学習（3／3）

(1) 目標

自分の好きな「木星」を選んだ理由を伝え合うことができる。

(2) 展開

学習内容と学習活動	○教師のかかわり ◆評価規準〈評価方法〉								
<p>1 「木星（中間部3／4の旋律）」のオーケストラ演奏を、これから聴く自分の選んだ「木星」と比べて聴く。</p> <p>2 自分の選んだ「木星」を確認する。 「シンセサイザー」「パーカッション」 「ピアノ連弾」「パイプオルガン」</p> <p>3 本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○これから様々な「木星」を聴くが、原曲はオーケストラによる演奏であることを確認する。</p> <p>○前時に選んだ演奏を確認させ、聴く場所を伝える。</p> <p>○音楽室・音楽準備室・視聴覚室・視聴覚準備室にCDを準備する。</p>								
<p>自分の好きな「木星」のよさや特徴を伝えよう。</p>									
<p>4 共通事項を使った言葉で自分の気に入ったところとその理由を伝える。 (共通事項) 音色 速度 旋律 音の重なり 変化</p> <p>○好きなところをピンクの付箋に書く。 (記入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音がきれい ・音楽が盛り上がる ・情景が浮かぶ など <p>○理由を水色の付箋に書く。 (記入例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇の音色が宇宙の様子を強調している。 ・たくさんの楽器で音が重なっている。 ・旋律（メロディ）が美しい。 など <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">0 : 0 0 1 : 0 0</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding-right: 5px;">上がピンク</td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; text-align: center;">付箋</td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; text-align: center;">付箋</td> <td style="width: 35%; border: 1px solid black; text-align: center;">付箋</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 5px;">下が水色</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">付箋</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">付箋</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">付箋</td> </tr> </table> </div>	上がピンク	付箋	付箋	付箋	下が水色	付箋	付箋	付箋	<p>○共通事項の言葉については、理由の一つとしてキーワードになることを知らせ、また、この言葉を使わずに、自由に表現してもよいことを知らせる。</p> <p>○付箋は選んだ曲ごとに画用紙に貼らせる。この時、画用紙の横軸を楽曲の時間経過とし、CDのカウンターをもとに、曲のどのあたりが気に入ったのか確認し、おおよその場所に貼らせる。ピンクの付箋の下に理由の水色の付箋を貼らせる。</p> <p>○好きなところが書けない子には、なぜその曲を選んだのか声掛けをし、その答えをピンクの付箋に書けばよいこととする。または個別に呼んでオーケストラでの演奏を聴かせ、違いを考えさせる。</p> <p>◆好きなところと理由を付箋にまとめ、友達に伝えることができる。(付箋—B 評価)</p> <p>◆共通事項の文言を適切に使って好きな理由を付箋にまとめ、友達に伝えることができる。(付箋—A 評価)</p> <p>○理由が書けない子には、共通事項の言葉に着目させ、どれにあたるのかひとつひとつ考えさせる。</p> <p>○多くの子がよい・好きだと言った部分がある場合はその曲の特徴としてまとめさせる。</p> <p>○様々な意見がある場合はそれぞれの意見を共有し、いろいろな感じ方があることを知らせる。</p> <p>○いろいろな「木星」を聴いたことにより、今までは気付かなかったオーケストラのよさや特徴・新しい発見などを発表し合い、この曲のよさを深めたい。</p>
上がピンク	付箋	付箋	付箋						
下が水色	付箋	付箋	付箋						
<p>5 同じ曲を選んだ者同士で付箋の内容を共有する。同じ意見が多いことについては、グループの意見としてまとめ、他のグループに発表する。</p>									
<p>6 最後にオーケストラによる「木星（中間部分3／4の旋律）」を聴き、新しく気付いた点などを発表する。</p>									